

農業(農家)って
ホントはどんな仕事？
どうやったらなれるの？



農業(農家)の仕事に
ついてご紹介します！

どんな仕事？

畑や田んぼに作物の種をまき、栽培し、収穫する、人間が生きていくうえで必要な基本的な産業です。人間や動物が必要とする野菜など食べるものを生産します。また、食べ物の他にも、ニワトリやウシの飼育を行う畜産業、温室などで花の栽培を行う花卉農家、カイコを飼育し、洋服などに使う絹などの繊維の生産を行う養蚕農家もあり様々です。

この仕事をやっていて良かったと思えることは？

この仕事をしていると、食べ物や自然環境へ興味を持つことができ、楽しい日々を送ることができます。農業は重労働であり、天候に左右され、植物も動物などと同じ生き物なので見回りに行かなければいけません。それでも農業をやっていてよかったことは①家族全員で仕事をするができます。②自然(作物)と関われる仕事で、結果が目に見えて実感できます。③自分で育てた野菜をいろいろな方に食べてもらえます。④農業は社会に必要な仕事です。(食料自給、耕作放棄地対策)。このようにいろいろな農作業を行うことで自分にとって達成感を得られるような仕事です。

どうやってその仕事についたの？

この仕事をしているきっかけは、もともと自分の家が農家で農業を行っているというのが一番の理由です。小さい時から植物のことや自然環境について興味を持ち始め、本で勉強したり農家さんのお手伝いに行ったりしていました。農業をするためには、農作物や自然環境に関する知識や、農作業に必要な技術が必要になります。だから、高校～大学の間に農業に関することを学ぶことをオススメします。数学や英語が苦手でも苦労することはありません。農業は失敗がつきもの、何事にも挑戦していくスタイルでやるといいですよ!!

Q&Aで疑問を解決！？

Q. 農業を目指す若い人が増えてきたのはどうして？

A. 若い人たちも自然に「農業」という言葉に触れる機会が増え、興味を持ち始めたからです。その背景として、近年社会的に企業や政治が農業に対して再び意識を傾け始めているということがあります。農業は経験したことがなくてもやることができます。野菜作りを失敗しても「次は成功させよう」といった向上心を持つことができ、また自然に触れられる仕事なので人気が高いです。自分探しをしたい人が農業を始めることもあります。